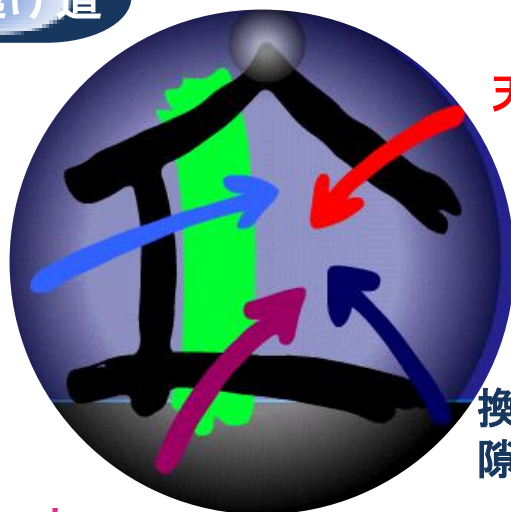


住宅の冬場の温熱環境を向上させるためにどのような方法があるのか？
 温熱環境は**室温、気流、冷放射量**によってその快適性が決定します。
 好みの室温にするためにはどのくらいの熱が必要なのか？それは住宅から逃げる熱量(暖房負荷)によって決まります。逃げる場所は壁、床、屋根、窓。最も大きいのが窓で**30%以上**にもなります。

住宅からの熱の逃げ道

窓などの開口部
37%

外壁 16%



天井・屋根 12%

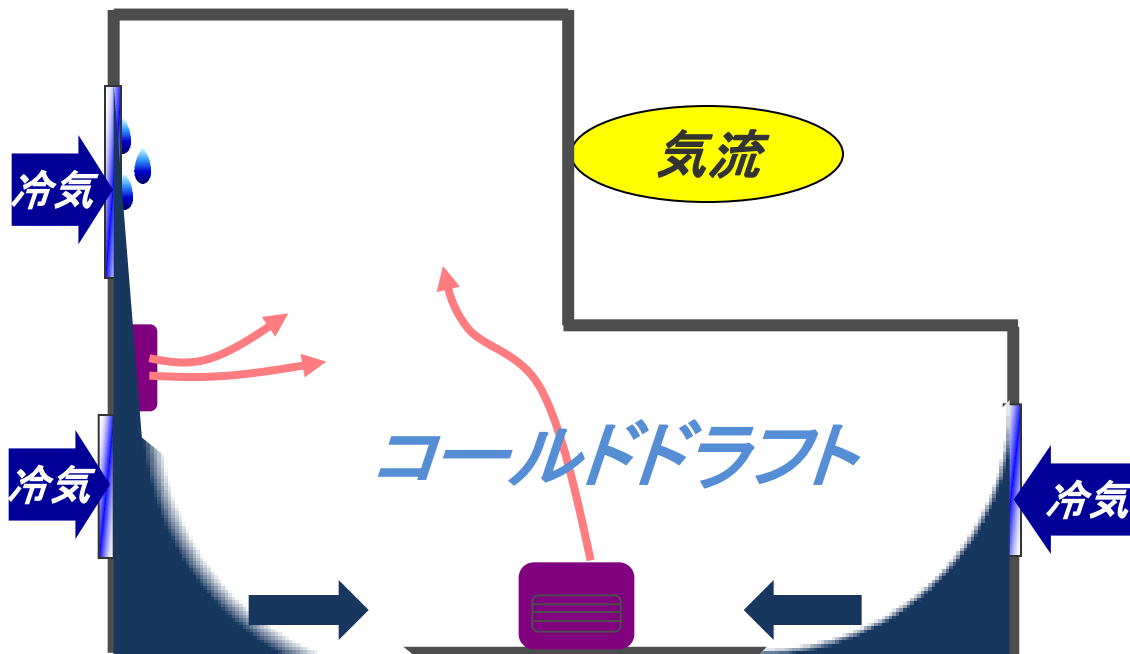
換気扇などの
隙間 26%

床 9%

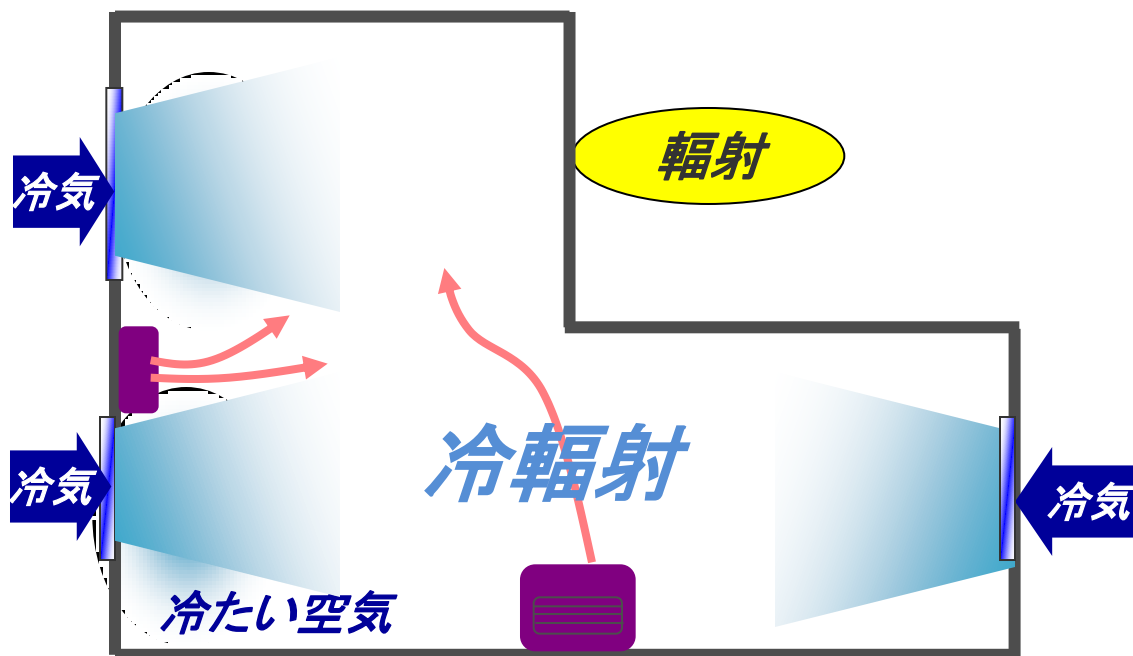
1

出典：経済産業省編「ゆとりと豊かさの快適住宅のために」より

気流は壁や窓からの隙間風や冷たい窓面付近の空気温度が低下し、その空気が下降気流となり床面を走るコールドドラフトの発生により体感温度が低くなります。



冷輻射は窓面を含めた内部壁面温度が低いと体感温度を低下させます。

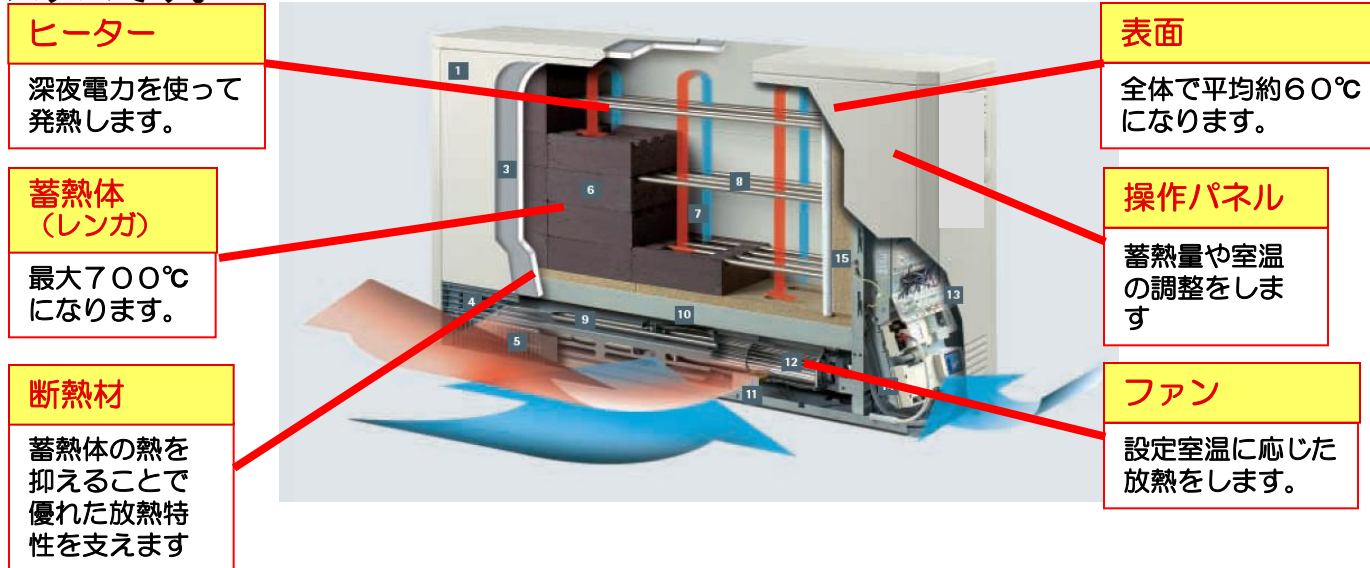


これらを解決するもっとも簡単な方法は窓を高性能タイプにすること。
暖房負荷を軽減、気流の減少、冷輻射の低減すべてに効果があります。

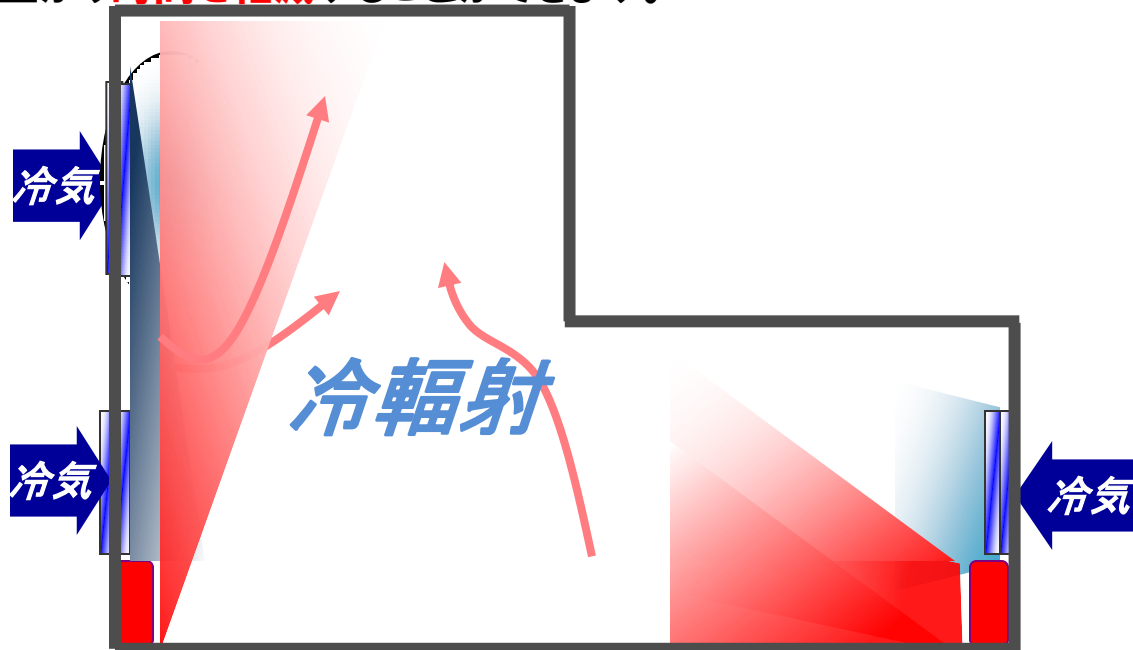
解決方法はYKKのプラマードUを追加することです。工期も短く確実に効果を実感できます。プラマードUの追加によって窓際のヒエヒエ感がなくなり結露も減少。一般サッシの窓に比べ、1年間の暖房費も軽減できます。



そして更に冬場の快適性を求めるのであればAEGの**蓄熱暖房器**をお勧めします。蓄熱暖房器は内部に酸化鉄を主成分としたレンガがはいっておりそのレンガに安価な夜間の電力で熱を蓄えます。その夜間に蓄えた熱で1日中暖房をするシステムです。



輻射熱と**自然対流**を24時間放出し、壁面からのコールドドラフトと冷輻射を相殺します。建物そのものを24時間暖めますので**朝、晩の温度変化**が少なく、暖房の立ち上がり**時間を軽減**することができます。

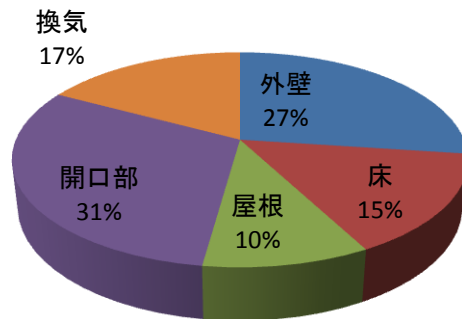
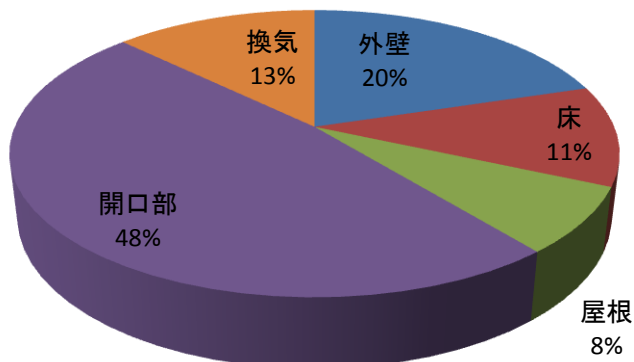


電気代は夜間電力を使用するのでたいへん**お得なシステム**です。AEGでは窓を追加したことによる暖房負荷の軽減度を定常計算した上で最適な蓄熱暖房器の型式と電気料金をご提案させて頂いております。

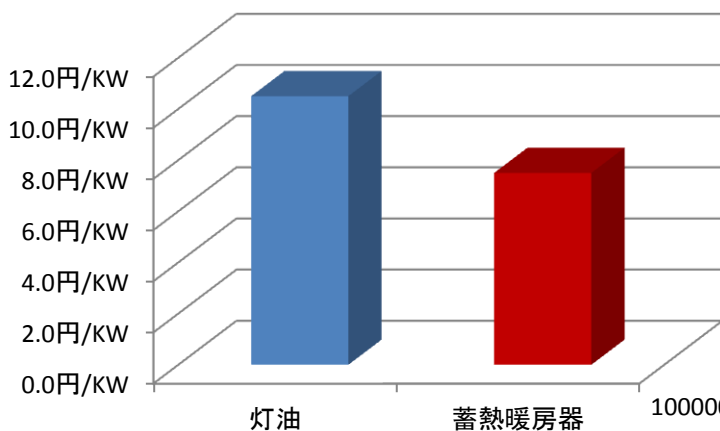
プラマードUに窓を交換して蓄熱暖房器を設置すると

改修前 4450W

改修後 3328W

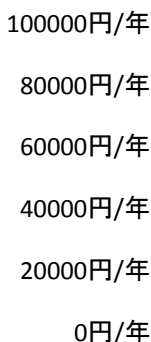


窓交換で暖房負荷25%小さくなります。

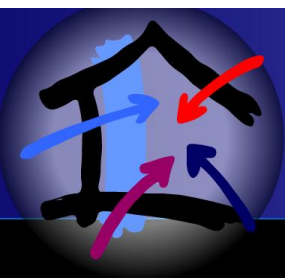


蓄熱暖房器の運転単価は 3円/kw 安いので

暖房料金が 年間44,000円 も安くなります。



灯油 蓄熱暖房器



算出条件
 地域: 千葉市
 床面積: 120.4m² 温度:
 非空調室温度: 13℃
 室温: 22℃
 暖房時間: 24時間
 暖房範囲: 全室

断熱仕様
 外壁: ロックウール40K 55mm
 屋根: ロックウール40k 75mm
 床: ホリエチレンフォーム 30mm
 開口部面積: 30.18m²
 電気料金: 東京電力(株)時間帯別電灯料金
 灯油料金: 70円/リットル

**蓄熱暖房器の設置は以下の手順で行います。
まずは条件を決めて暖房負荷計算依頼をしましょう。
無料です。**

暖房する部屋を決める。
(全館かLDKのみか?)

機器の設置場所を決める。
(場所それとも室温を優先?)

暖房条件を提示する。
(室温、暖房時間を確認)

暖房負荷計算をする。
(必要事項を明記し、図面共FAX)

電気工事/床補強/壁補強
工事を含めた お見積り

電気工事/床補強/壁補強
工事する

蓄熱暖房器施工

試運転・取扱説明

御引き渡し

